

## R2年 都道府県別黒毛和種出生頭数&前年比

都道府県	頭数	前年比	都道府県	頭数	前年比
北海道	78,880	104.1%	滋賀	1,501	104.3%
青森	9,270	103.0%	京都	646	100.5%
岩手	27,703	100.8%	大阪	41	69.5%
宮城	21,767	99.6%	兵庫	11,774	102.4%
秋田	6,473	101.7%	奈良	567	105.4%
山形	4,929	107.9%	和歌山	543	101.1%
福島	11,917	100.3%	鳥取	3,586	111.2%
茨城	5,242	104.7%	島根	8,177	105.7%
栃木	13,579	102.5%	岡山	5,268	106.2%
群馬	8,204	104.5%	広島	4,197	100.7%
埼玉	1,479	106.3%	山口	3,429	100.5%
千葉	3,469	111.2%	徳島	1,816	105.9%
東京都	124	97.6%	香川	1,744	109.2%
神奈川県	547	119.2%	愛媛	1,251	106.0%
新潟	1,587	108.3%	高知	848	108.2%
富山	715	107.2%	福岡	3,295	100.2%
石川	859	104.1%	佐賀	8,637	104.5%
福井県	293	102.8%	長崎	24,728	102.5%
山梨	688	104.1%	熊本	30,480	103.5%
長野	3,451	101.0%	大分	13,812	102.1%
岐阜	7,479	99.4%	宮崎	71,159	100.6%
静岡	1,185	102.1%	鹿児島	94,111	101.6%
愛知	4,182	107.4%	沖縄	31,873	100.5%
三重	1,815	102.0%	全国計	538,320	102.3%

- ★ ○全国4つの県以外(赤字で記入)全て前年より子牛出生率は上がっている。  
○四国で出生率の高いのは、乳用種への受精卵移植により、黒毛和種の出生が増えている事による。  
○東北は東日本震災の影響で、出生率が前年を割り続けていたが、昨年久々に回復した。  
○繁殖基地南九州地区は、全国平均を下回る。\* 規模の少ない農家の廃業が要因。